

## 平成30年度第2回熊野市総合教育会議会議録

1. 日 時 平成30年11月7日（水） 午後1時30分から
2. 場 所 文化交流センター 多目的ルーム
3. 出席者 熊野市長 河上敢二  
熊野市教育委員会  
倉本教育長 大久保委員、糸川委員、高見委員、北野委員
4. 事務局関係  
教育委員会事務局  
岡本総務課長、楠学校教育課長、濱中社会教育課長  
太田総務課長補佐、小瀬総務課庶務係長  
市長公室  
松岡市長公室長  
総務課  
尾中総務課長
5. 事 項  
(1) について

岡本総務課長 定刻になりましたので、ただいまから平成30年度第2回熊野市総合教育会議を開催いたします。本日の司会進行を務めさせていただきます、教育委員会総務課長の岡本でございます。よろしくお願いいたします。

最初に、総合教育会議の開催にあたりまして、河上市長からご挨拶をお願いいたします。

河上市長 本日は、平成30年度第2回目の総合教育会議でございますが、教育委員の皆様にはお忙しい中ご出席いただきまして誠にありがとうございます。また、日頃より当市の教育行政の推進について、格別のご尽力とご協力をいただいておりますことに、心から深く感謝を申し上げます。

本日の総合教育会議において、今年度の重点施策5項目の進捗状況について報告をさせていただきますとともに、報告内容を基に今後の方向性について説明をさせていただきたいと考えているところでございます。

その中で、学力向上の推進という重点項目における ICT 教育の推進でございますが、ICT の活用技能など新しい学力が求められている中、子どもたちの可能性を最大限に高めるため、ICT を主体的に使いこなす力の育成など、より具体的な取組を進めていかなければならないと考えております。

保護者や地域との連携の項目におきましては、平成 32 年度にすべての学校は、コミュニティ・スクールへの移行を控え、地域住民の皆さんを巻き込んだ防災訓練でありますとか地域住民の方に講師としてご協力をいただくなど、地域に開かれた学校づくりをさらに進めていく必要がございます。

社会教育におきましては、少子高齢化が加速度を増して進んでいる本市の状況を踏まえまして、生涯を通じて生き生きと学び続けることのできる環境の整備を進めていかなければならないと思っております。

また、8月に開催いたしました全国高等学校総合体育大会、いわゆるインターハイでございますが、全国から多くの皆様にご参加いただき、無事に終了することができました。現在は、平成 33 年度に開催される第 76 回国民体育大会に向けて準備を進めているところでございます。

さまざまな分野において検討し、進めなければならない課題が多くありますけれども、来年度に向けてのご提言を含め、忌憚のないご意見をいただければ幸いです。簡単ではございますが挨拶とさせていただきます。本日はどうかよろしくお願いいたします。

岡本総務課長

ありがとうございました。お手元に配布の資料の確認をさせていただきます。3 種類でございます。本日の事項書、平成 30 年度第 2 回熊野市総合教育会議、資料の 3 種類となっております。よろしいでしょうか。

それでは、事項書 2 の (1) 平成 30 年度主な重点施策の進捗状況と今後の方向性について、に移らせていただきます。平成 30 年 5 月 24 日に開催しました『第 1 回熊野市総合教育会議』において、5 つの重点施策と 23 の主な取組内容について、それぞれ協議をさせていただきました。今年度の上半期 10 月 31 日までの取組状況と今後の取り組みについて説明をさせていただきます。重点施策 1 つが終わる毎に、ご質問やご意見等をいただきたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。第 2 回熊野市総合教育会議の資料の 1 ページを開いていただきたいと思います。

まず、1 ページの「重点施策 1 学力向上の推進」についてですが、3 ページまで 5 事業となっております。

まず取組事業名、学力向上支援事業ですが、別冊資料につきましては、1 ページから 4 ページをご覧ください。事業内容といたしまして、市教委が指定した学校において招聘した外部講師に指導助言をいただきながら、授業改善を行い、児童生徒の学力向上を目指します。10 月 31 日までの取組状況につきましては、指定校は継続が飛鳥小、入鹿中。新規が井戸小、金山小となっております。外部講師の派遣回数は、飛鳥小が 2 回、入鹿中が 2 回、井戸小が 3 回、金山小が 2 回となっております。今後の取組の方向性でございますが、公開授業研究発表会の開催が飛鳥小では 12 月 5 日、入鹿中は 1 月 21 日を予定しております。今後の外部講師の派遣予定回数につきましては、飛鳥小が 2 回、入鹿中が 2 回、井戸小が 1 回、金山小が 2 回を予定しております。次年度におきましても、年間 4 校を指定し、各校 2 年間の研究を行ってまいります。また、2 年目に研究発表会を行い、成果を広く発信します、としております。

次に、学力向上推進研修事業でございます。資料につきましては、5 ページをご覧ください。事業内容といたしまして、年 3 回の学力向上推進研修会を開催いたします。全国学力・学習状況調査の分析を踏まえて、教員が授業改善を行い、自らの指導力を高めることにより、児童生徒の学力の向上を目指します。取組状況につきましては、三重大学教育学部の森脇健夫教授を迎えまして、第 1 回は 5 月 29 日、第 2 回は 8 月 24 日に開催いたしております。今後の取組ですが、第 3 回の学力向上推進研修会を 1 月 29 日に開催予定としております。また、先進校視察といたしまして、11 月 26 日、津市立香良洲小学校を視察予定となっております。

2 ページに移らせていただきます。地域未来塾事業でございます。資料につきましては、6、7 ページをご覧ください。事業内容といたしまして、夏・冬の長期休業中に、希望児童を対象として学習支援を行います。講師には、熊野市出身の大学生や講師等をあてます。取組状況につきましては、夏休みに実施いたしました、2 日間 1 セットを基本に、午前 9 時 30 分から 11 時 30 分で実施いたしております。場所につきましては、熊野市民会館や学校会場の新鹿小、飛鳥小、五郷小、入鹿小でございます。参加者は合計 56 人で、延べ参加人数は 386 人の参加をしていただいております。今後の取組の方向性でございますが、冬休みにも実施いたします。場所は、熊野市民会館で行う予定となっております。

次の取組事業名、グローバル体験事業でございます。資料につきましては、8 ページをご覧ください。事業内容といたしまして、英語の世界を楽しく体験させることにより、グローバル社会に対応でき

る児童生徒の育成をめざします。取組状況につきましては、グローバル・スポーツ・イベントといたしまして、6月3日に井戸小の体育館で行いました。参加児童数は23人で行いました。夏休みの英会話教室では、ALTが考案したゲームなどを通し、楽しく日常の英会話を学びました。参加児童生徒数は、延べ12人となっております。今後の取組の方向性でございますけれども、グローバル・ウィンター・フェスティバルを12月9日に文化交流センターにて予定しております。アメリカやカリブ諸国で行われている楽しい冬のイベントを、ALTの英語のお話を交えながら行うこととしております。

3ページに移らせていただきます。ICT教育推進事業でございます。事業内容といたしまして、ICT教育推進委員会におきまして、今後のICTの具体的な活用等について協議を進めます。取組状況でございますけれども、ICT教育推進委員会の開催について1回目が6月14日、2回目が7月31日、3回目が8月22日に開催いたしました。視察でございますが、7月26日に草津市教育委員会へ行ってまいりました。それから、プログラミング教育の実施ということで、三重大大学の支援を受けながら、新鹿小中学校・金山小学校・飛鳥中学校をモデル校といたしまして、その他希望する学校と併せて授業を実施しております。実施回数は、5校で合計10回となっております。今後の取組の方向性でございますけれども、推進委員会において、「熊野市情報教育推進プラン」の策定を行います。そして、草津市立常盤小学校を訪問して、学校におけるタブレット等の活用の状況を視察し、「推進プラン」策定に生かします。11月22日を予定しております。以上が、重点施策1 学力向上の推進の進捗状況と今後の方向性を説明申し上げます。ご質問やご意見等ございましたらよろしく願います。

河上市長 2ページの地域未来塾事業で参加者が56人になっていますが、母数は何人なのですか。

楠学校教育課長 地域未来塾は、熊野市内の全小学校の4年生、5年生、6年生です。4年生でしたら、118人です。こちらについては、資料の6ページに記載しております。昨年度は、3割を目標にしましたが、なかなかその数値に到達できませんでした。いろいろな工夫をさせていただきましたが、56人ということで、来年度も工夫をこらして募集をかけていきたいと思っております。

河上市長 学力向上が必要ですね。3割目標に達してないので。これは、努力をしてもらわないと、せっかくやっても参加人数が少なければ、その事業の効果がなかなか評価しづらいと思うので。それと、下の夏休み英会話教室は、なかなか夏休みということもあったかもしれな

いですが、参加人数が6人という数字はきびしいですね。

楠学校教育課長

6月3日のスポーツ・イベントは、新しいALTが来る前の3人で実施したのですが、英会話教室は、新しいALTで実施をしましたので、まだ溶け込んでいない中、参加児童生徒が少なかったと思います。

河上市長

そうすると、来年は慣れていると思うので、増えることを期待します。

大久保委員

地域未来塾に参加する児童の学力は、どのような程度の学力なのですか。

倉本教育長

総じて、ある程度の学力を有する子どもたちが参加している状況にあります。学力に課題のある子どもが、なかなか来ていただくことができない状況もあります。全てがそうではございませんが、学力において課題のある子どもの参加をこれからもっと増していかなければいけないと考えております。

北野委員

同じ地域未来塾なんですけれども、五郷小学校の参加が非常に良いのですが、特別に五郷小学校で取り組んでいることがあるのか、ただ参加率が良いだけなのでしょう。

倉本教育長

五郷小学校におきましては、地元で生まれ育った大学生を1人講師に任用していたので、非常に参加しやすい雰囲気が集まったのかなと思います。また、各学校へ学習に課題のある子どもたちも含めて、できるだけ参加を勧めてもらっております。そういった中で、母数は少ないですが、参加していただいたということになります。

糸川委員

地域未来塾の関係なんですけれども、それに参加された生徒さんが、参加したことによって成績が上がったとか、それによって習得したという結果のようなものはあるのでしょうか。

倉本教育長

動機付けにはなっていると思います。一度参加した子どもは、翌年も来てもらったりしております。ただ、学力がどれだけ伸びたかというところは、この日数ではなかなか数字には表れないと思います。主体的に学ぶという姿勢を育成するためには、効果的な事業だと思います。

高見委員

同じく地域未来塾のことですが、どうしても夏休みということもあるかと思うのですが、保護者の方にアンケートを取ってみることはどうかなと思いました。地域未来塾というの事業があることを知っているのか。塾に参加したことがある、ない。または、知っている人に関して、参加しないのはなぜかなど。各ご家庭にもそれぞれ理由はあると思うんです。保護者の方もそういうことは目にしておられるかと思うのですが、バタバタしている時とかだと見逃してしまうことがあると思います。私も、子どもを育てて来た中で、後で

こんな事があったの？ということが多々ありましたので、子どもはもちろん、親に対してもそういうアプローチが必要なのではないかなと思いました。

倉本教育長 参加率を増やすために、今高見委員から言っていただいたことも含めて、これからも検討していかないといけないと思います。

毎回申し上げているのですが、退職した教職員が完全ボランティアで毎週土曜日に塾を開いていただいております。「熊野学び舎」という塾です。これは、小学校 6 年生を対象としているのですが、夏以降は、受験を目前に控えた中学校 3 年生の子どもたちの希望を募っております。今年度も何名かの中学校 3 年生の生徒が手を挙げていただいております。これは、完全ボランティアですので、教育委員会とは連携をしておりますが、会場であるとか印刷機であるとか用紙であるとか、そういった支援のみ教育委員会は行っております。

岡本総務課長 他にご意見やご質問ございませんでしょうか。

河上市長 学力向上支援事業として、研究指定校でこれまでもいろいろな取組をされていますが、これまでこの指定校で外部講師を派遣されて取り組んで来たことと、学力向上が結び付いていたのかどうかという検証はされたのでしょうか。

倉本教育長 学力・学習状況調査の結果につきましては、小さな学校においては、母数が非常に小さいので、平常値が毎年大きく変動いたします。一人一人の学習に向かう姿勢というのは、前向きになったという報告は受けておりますが、具体的に数値化されたものは、現在持っておりません。

河上市長 きびしい評価になるかもしれないですが、子どもたちの年度によって変わる状況があるので、話しづらいところもあるのですが、例えば、小学校において、経年的に見て、この外部講師による講義がなんらかの役に立ったかどうかということは、検証しないとこのやり方が果たして良いのかどうかということになるので、違うやり方も考えるべきではないか。やっていることは否定しないのですが、その効果が十分に見られないのであれば、違う方策を考えるべきではないかと思うので、なかなか一概にこれだけの回数で結果が出るかということは非常に難しい面があるんですけども、やっている以上、施策や取組の評価をして改善をすべく、あるいは全く違う取組に変えるといったことは、考えるべきだと思います。

糸川委員 小学校の英語教育だったり、ICT 教育だったり児童生徒も大変ですが、同時に指導する先生方もすごく大変な状況なのかなと思います。そういう先生方の働く環境だったりとか精神的ケアもどのようになっているのでしょうか。

倉本教育長

学校職員の過重労働が非常に問題になっております。過労死レベルの80時間を超えるという時間外労働を抑えるために、学校教育課が中心に学校を指導したり、土曜授業を少なくしたりと進めておるんですが、なかなか劇的に改善される状況ではないです。

一方では、新学習指導要領の完全実施を控えて、現在移行期に入っております。ですから今後は、子どもたちが学習に対して意欲的に取り組んで、より良く問題を解決するというアクティブラーニングの視点での授業を組み立てなければならないということで、職員の負荷が大きくなっております。子どもたちの学力を上げないといけないし、また、職員の労働衛生環境を確保しなければいけません。市では、専門医や学校職員がどういった解決方法があるかについて話し合う労働安全衛生委員会を年2回開催しております。また、毎月過重労働報告を各学校に求めていますので、それで80時間以上が連続して続いた場合は、産業医の受診命令を出しております。そういったことで進めておりますが、学校規模であったり、小学校と中学校の違いであったり、個々の対応も必要になってくる場合がございます。

河上市長

今の糸川委員の発言について思ったのは、教育委員会や学校長において、状況把握は概念的にはされているだろうと。超勤する中身については、今まで分析されていないと思います。例えばクラブ活動でこれだけとか、保護者対応でこれだけとか、こういった細かな分析をして、どういう対策が必要か検討してもらった方が良いのではないかと思います。細かな時間の中身を聞かれたらいかがでしょうか。

倉本教育長

細かなところまでは把握しておりませんが、各学校の聞き取りとかですね、そういった状況を見てもみますと、部活動や入試前の指導、学校行事の文化祭や体育祭など、そういったところが増えて来る状況であります。一方では、個人によって教材研究の形がまちまちでありまして、学校でやっていく職員や家でやる職員、そういった部分を含めてある程度のデータは取って行くのも必要ではないかと思えます。

楠学校教育課長

時間外労働の件なのですが、月別の勤務状況報告という県のシステムがあります。各職員が入力するので、時間外の内容はこちらで把握できるようになっております。80時間を超える過重労働者は、必ずこちらの方に出していただいております。その中で、1ヶ月の勤務状況がわかるようになっております。教育長が申したように、部活動の割合が多いです。ただ、昨年度と比べて少なくなってきております。それは、専門医から指導をしていただいたり、また、土

日連続しての部活動がなくなりましたので、それが軽減に繋がっております。

岡本総務課長

ありがとうございました。次の施策に進ませさせていただきます。4ページの「重点施策 2 保護者や地域との連携」の進捗状況と今後の方向性についてですが、まず、いじめ対策事業でございます。資料については 9 ページとなっております。事業内容といたしまして、小学 3 年生以上の全児童及び全中学生を対象に学級満足度調査 (QU 調査) を実施し、その結果をより良い学級・学校づくりに生かしていきます。定期的にいじめアンケートを実施し、未然防止、早期発見、早期対応を図ります。取組状況ですけれども、6 月 26 日にいじめ問題対策連絡協議会 第 1 回会議を行い、関係機関、団体とともに効果的な啓発や対策について協議いたしました。児童生徒対象のアンケートを実施しまして、未然防止、早期発見、早期対応に努めました。また、保護者対応、学校評議員・学校運営協議会委員対象のアンケートも実施し、いじめ問題への学校の取組状況について確認しました。そして今、全小中学校で QU 調査を実施しております。4 月から 9 月までの認知件数は小学校 5 件、中学校 2 件となっております。今後の取組の方向性ですけれども、いじめ対策事業研修会「法律家の立場から見たいじめ問題について」という演題で弁護士を講師に招いて講演を開催いたします。それから、いじめの問題を含むアンケートの分析でございますけれども、10 月に実施した保護者等対象のアンケートについて、内容の分析を行い、各校の取組に生かすよう情報共有を行います、となっております。

次に、5 ページのコミュニティ・スクール推進事業でございます。事業内容といたしまして、2 つの学校運営協議会、新鹿小・中学校、五郷小・中学校を設置し、地域と連携・協働を進める中で、地域とともにある学校づくりに取り組みます。取組状況でございますけれども、学校運営協議会は、新鹿小・中学校が 2 回、五郷小・中学校が 3 回実施しております。地域と連携した取組につきましては、新鹿小・中学校では 5 月 19 日の防災を考える会等。五郷小・中学校では 5 月 1 日の田植えなどに取り組んでおります。今後の取組の方向性につきましては、学校運営協議会は新鹿小・中学校、五郷小・中学校とも 2 月を予定しております。地域と連携した取組につきましては、新鹿小・中学校では 11 月上旬の老人会と合同の芋の収穫祭。五郷小・中学校では、11 月 11 日の五郷小・中学校文化祭などを予定しております。これらの取組に加え、「地域とともにある学校づくり」をさらに進めていきます、としております。

続いて、6 ページに移らせていただきます。学校防災対策推進事業

でございます。事業内容といたしまして、三重大学准教授を招いた研修会を実施いたしまして、地域と連携しながら、各学校の実態に応じた防災対策・防災教育を推進します。取組状況につきましては、三重大学の川口准教授を講師に招いて、第1回目が6月21日、第2回目が10月26日に学校防災対策推進研修会を開催しております。今後の取組の方向性でございますが、第3回の学校防災対策推進研修会を2月に予定しております。学校と保護者・地域・自主防災組織が、合同避難訓練等を実施することで、それぞれの役割分担を明確にしながら、連携を深めていきます、としております。

次の防災教育・各種訓練等の充実でございます。取組状況でございますけれども、「防災ノート」、「ワークシート」等を活用し、持ち帰りを含めた学習を行うことで学校・家庭が連携した防災教育を進めています。危険箇所調べ実施校につきましては、木本小ほかご覧の小中学校でございます。防災マップ実施校につきましては、木本小ほかご覧の小中学校でございます。保護者や地域防災組織と連携した避難訓練の実施校につきましては、新鹿小・中学校ほかご覧の小中学校で実施いたしております。今後の取組の方向性といたしまして、土曜授業日や授業参観日等に保護者や地域住民参加の避難訓練を実施することにより、学校・家庭が連携した防災教育をさらに推進します。危険箇所調べ予定校につきましては、新鹿小・中学校ほかご覧の小学校で実施予定となっております。防災マップ予定校につきましては、新鹿小・中学校ほかご覧の小中学校で実施予定となっております。保護者や地域防災組織と連携した避難訓練の実施予定校につきましては、井戸小学校ほかご覧の小中学校で実施予定となっております。

次に、7ページをご覧ください。地域人材等の活用でございます。事業内容といたしまして、地域人材等を積極的に活用して、子どもたちが将来の夢や希望を持てる魅力ある授業づくりを進めます。取組状況でございますけれども、学校における囲碁教室事業におきましては、新鹿小学校ほかで延べ21回実施しております。特別非常勤講師による授業でございますけれども、ダンスや連鶴作成などを実施していただいております。まちの人材活用事業では、ダンスの指導などをしていただいております。地域ボランティアの活用におきましては、太鼓の指導などを実施していただいております。今後の取組の方向性でございますけれども、学校における囲碁教室事業につきましては、引き続き実施してまいります。特別非常勤講師による授業につきましては、今後も地域の方に講師とさせていただく授業を予定しております。以上が、重点施策2 保護者や地域との進捗

状況と今後の方向性をご説明申し上げました。ご質問やご意見等ございましたらよろしく願いいたします。

高見委員

QU 調査の資料につきまして、ありがとうございます。今回、初めて見させていただきました。とても細かく聞いていただいているなという印象を受けました。こちらから、いろいろなことが見えてくると思うのですが、QU 調査を大いに活用していただいて、子どもたちが楽しく過ごせて、またより良い学校生活を送れるようになればと思います。

糸川委員

いじめの未然防止について、一番良いことだと思うのですが、いじめというのは、いじめる側といじめられた子どもの問題ではなくて、それを見ていた子どもたちもいじめる側と同じなんだという認識を持たせなければならないと思います。このような QU 調査をしたり、いじめのアンケートを取ったりすることも大事なんですけども、それと同時に学校側がいじめに対して、きちんと対応していく姿勢を明確にすることで、未然防止になるのではないかと思います。子どもたちから訴えがあった時に学校や先生方の対応への不安を取り除く学校側の姿勢を見せてほしいと思います。資料を見させていただいて、学級担任が 3 件いじめを発見したとありますが、先生がそれだけ、子どもたちを見てくれているということで、とても良いことだと思いますけども、最近では SNS など見えないいじめがあるような気がします。そういう点でも未然に防ぐための学校づくりをお願いしたいと思います。

岡本総務課長

ありがとうございました。関連して、ご質問やご意見などありましたらよろしく願いいたします。

それでは、次の施策に移らせていただきます。8 ページをご覧ください。「重点施策 3 子どもの読書活動の推進」の進捗状況と今後の方向性でございます。資料は 10 ページとなっております。まず、子どもの心づくり事業（読み聞かせ）でございます。事業内容といたしまして、おはなしなかに、幼児のおはなし会、おはなしわくわくなど、子どもの成長に合わせ、読書活動をボランティアの協力を得ながら実施いたします。また、健康・長寿課が主催するブックスタート事業に協力します、としております。取組状況ですけれども、おはなしなかにや幼児のおはなし会、おはなしわくわくを実施しております。昨年度は、参加者数が減少しましたが、おはなしなかにの参加者が増加しております。これは、ボランティアのグループが活発に取り組んだこととお母さん同士の口コミで広がったものと認識しております。ブックスタート事業につきましては、毎月 1 回開催されており、ボランティア 1 名が参加しております。今後の取

組の方向性につきましては、市広報紙やWebページを活用して市民の方への周知を図ることによって、参加者の拡大を目指します。引き続き、健康・長寿課と連携協力し、読み聞かせ等の活動に生かします、としております。

次に学校との連携でございます。資料は同じく10ページでございます。事業内容ですが、子どもの読書の機会を増やすため、小中学校と連携して、図書の団体貸付制度の利用促進を図るとともに読書ボランティアの派遣を進めます。取組状況ですけれども、団体貸付の実施につきましては、貸出数が10月末現在で2,317冊と昨年とほぼ同じ数字となっております。内訳としましては、ご覧のとおりとなっております。小・中学校へのボランティアの派遣ですけれども、7校へ14回で延べ46人の派遣を。対象児童・生徒数は150人でございます。今後の取組の方向性ですけれども、団体貸付や読書ボランティアの派遣、図書館見学会等の開催について、学校との連携を深め、子どもの読書の機会を増やします。学校との連携を深めるため、小中校長会にて、団体貸付制度の利用、読書ボランティアの派遣などを周知します。また、図書館見学会の実施、それから昨年度に引き続き、読書の習慣がどの程度身につけているかを測るため、12月から1月にかけて、市内の小・中学校の児童生徒を対象にアンケート調査を行い、今後の施策に生かします、としております。

次に9ページのボランティア活動活性化事業でございます。資料は11ページです。取組状況でございますが、現在の登録ボランティアの数は、29名となっております。昨年同時期では24名でございます。ボランティアと共に活動する図書館職員が研修を受講しました。また、おはなしなあとを担当しているグループは、月1度、例会を開きつつ、開催ごとに反省会を開き、活動が活性化しています。その結果、おはなしなあへの参加者数が増加しております。今後の取組の方向性ですけれども、ボランティアの増員と養成を図るため、ボランティア活動報告会を予定しております。

次に読書感想文コンクールでございます。資料は12ページとなっております。取組状況ですが、各学校において冬季休業中の課題として取り入れていただくよう準備を進めております。応募締切は1月下旬の予定としております。

次に蔵書整備事業でございます。資料は同じく12ページとなっております。取組状況でございますが、熊野らしい特色ある蔵書を目指して、新刊のほか、教科書で紹介されている本、読み継がれている良書などを購入しました。今年度購入冊数は3,647冊で、10月末現在蔵書の合計171,806冊となっております。今後の取組ですけれ

ども、蔵書を充実させるため、熊野市立図書館協議会の意見を聴きながら、司書等職員による選定と来館者のリクエスト等により、週1回程度の頻度で購入していきます。図書の購入にあたっては、独自の熊野らしさを向上させるため、市の歴史・文化、特産物、施策等に関わるものを選定します。そして、利用者の興味・志向に沿うものを選定します。また、図書館として備えるべき参考図書を選定します。最後に読書の年齢層やジャンルが偏らないなどの点から選定していきます、としております。以上が、重点施策3子どもの読書活動の推進の進捗状況と今後の方向性をご説明申し上げました。ご質問やご意見等ございましたらよろしくお願いたします。

大久保委員 読書活動についてですけれども、図書館の蔵書が増えてきて、各学校への団体貸付もたくさんいただいていると思います。ただ、各学校での図書の充実についてなんですが、学校の図書は意外と古い本が多くあると思います。それで、各学校の図書購入費は、どのくらい割り当てられているのでしょうか。

倉本教育長 各学校に学校規模に応じた図書購入費の配当を行っております。そして、それでも国が定める図書標準というのがございまして、それになかなか到達しない学校におきましては、市立図書館の団体貸付で借りるなどしております。各学校の図書購入費の中で、子どもが興味関心の引く図書を学校職員が中心となって選定しております。

糸川委員 学校図書は、図書室に行かないと置いていないのですか。

倉本教育長 私の経験から申しますと、学校図書館がございまして、図書室ですね。これ以外に担任の取組次第になりますが、学級文庫というものがございまして、子どもが持ち寄ってきたもの、担任が購入してきたものなどを色んな形で文庫を作っている学級があります。

糸川委員 図書館にわざわざ行くとか図書室に行くとか、なかなか一歩踏み出す感じですが、各学年の教室の廊下に学年に合った本を置いてあると手の届く場所であって、手に取って読むきっかけになるのではないかと思います。そういう読書の進め方も良いのではないかなと思います。

楠学校教育課長 学校では、朝の読書が行われています。自分の好きな本を持って来て、授業前に一定の時間に読書をさせております。先ほどの糸川委員のご質問についてですが、学校によっては、図書委員会という教員と子どもの委員会組織がございまして、その委員会で、その月の人気の本を選定し、図書室や廊下にミニ図書コーナーを設けて子どもたちに読書の啓発を進めております。あと、私が神上中学校の校長をしている時に、図書委員会主催でビブレオバトルを実施しまし

た。これは、京都大学の学生が考案したものなのですが、図書委員会の子どもたちが本の内容をプレゼンしながら、一番読みたかった本はどれか順位を決めて行くというものです。ビブレオバトルは色んなところで広まりつつあると思います。そういった工夫もなされていると思いますので、ご理解をお願いいたします。

糸川委員  
河上市長

わかりました。ありがとうございます。

一番知りたい数字がなかなか出せないのかなと思うのですが、子どもたち一人当たりの年間に読む本の数がどれぐらいで、なおかつ増えているかどうかというところが一番知りたいところなんです。これはなかなか調べるのは難しいでしょうね。

倉本教育長

これは、本の範囲をどこまでとするかだと思います。図鑑を入れるか、漫画を入れるか、物語ものを入れるか、説明的文章のものを入れるかということですね、それだけで随分と何冊読んだかが違ってまいります。

河上市長

なかなか正確に把握することは難しいと思いますので、間接的にも良いのですが、利用者数というのは、貸出対象数なんですか。

濱中社会教育課長

利用者数につきましては、登録カードにおいて貸し出されるものでデータ化された数字となっております。

河上市長

先ほど、教育長がおっしゃったように図書の定義をどこまで広げるかということがありますが、図書館を利用している子どもたちの傾向としてどれだけ貸出冊数があるか分かる訳なので、これは利用者数も必要なんです、生徒の母数に対する利用割合も含めて、その上で一人当たりの貸出冊数を出していただきたいですね。一番知りたい数字は、子どもたちが本を読む頻度がどうなっているかということなので、少し工夫をしていただきたいと思います。

濱中社会教育課長

承知しました。

岡本総務課長

他にございませんでしょうか。

次の施策に移らせていただきます。10ページでございます。「重点施策 4 生涯学習環境の整備」の進捗状況と今後の方向性でございます。まず、各種生涯学習講座です。資料につきましては、13ページとなっております。事業内容といたしまして、子ども囲碁教室をはじめとした子ども体験教室やイタリア語会話教室など、多様な生涯学習の機会を提供します。取組状況につきましては、子ども囲碁教室、初歩のイタリア語教室など11講座を開催(継続)しております。親子で花づくり教室のほかご覧の通りとなっております。今後の取組の方向性ですけれども、講座ごとの参加者によるアンケート、まちづくりアンケートや市民満足度調査の結果、講師の意見、参加者数の推移等をもとに、今ある講座を継続するか又は廃止するか、ど

のような講座が望まれているか等を教育委員会事務局において分析、検討し、来年度の講座メニュー案を作成します、としております。

次に 11 ページの市民文化祭でございます。資料は 13 ページでございます。取組状況でございますが、10 月 12 日から 14 日にかけて市民文化祭「展示部門」を開催いたしております。また、12 月 9 日と 1 月 27 日開催予定の「ステージ部門」に向けて準備も進めているところでございます。「展示部門」の出展者数は 309 人。入場者数は、600 人でございます。今後の取組の方向性ですけれども、市民の文化芸術活動など生涯学習に対する意欲の向上を図るために引き続き支援を行います、としております。

続いて、まちの人材活用事業でございます。資料は 14 ページです。事業内容といたしまして、知識や技能を持つ人材を、まちの人材として登録し、公民館や学校に派遣し、生涯学習活動の充実に努めます。取組状況でございますが、ダンス教室、写生指導、合唱指導などの登録人材を地域や学校に派遣しております。登録者数は、112 名でございます。派遣人数は、延べ 25 名。受講者数は、25 回で延べ 656 名となっております。今後の取組の方向性ですけれども、現在、学校教育(小・中学校)での活用が主となっております。生涯学習講座や地区公民館での活用等、広く地域住民を対象とした社会教育での活用を増やすため、広報紙等で事業内容の周知を図ります、としております。

次に 12 ページの読書推進事業でございます。資料は 14 ページです。事業内容としまして、市立図書館において文学講座、テーマ展示など各種読書推進事業を実施するとともに、より魅力ある図書館づくりを進めます。取組状況でございますけれども、近代文学作家を題材にした文学講座、季節や話題に応じたテーマ展示や企画展を継続的に実施するとともに、蔵書の計画的購入を図っております。文学鑑賞講座受講者数は、10 月末現在で延べ 218 名でございます。テーマ展示については、4 月に野菜づくりとガーデニング特集のほかご覧のような企画を実施しております。今後の取組の方向性ですけれども、文学講座の開催に加え、工夫をこらした企画展の開催や蔵書の充実を図り、生涯学習環境をさらに整えます。また、今後の文学鑑賞講座はご覧のような内容となっております。テーマ展示につきましてもご覧のような内容を予定しております。以上が、重点施策 4 生涯学習環境の整備の進捗状況と今後の方向性をご説明申し上げます。ご質問やご意見等ございましたらよろしくお願いたします。

河上市長

生涯学習講座は、一般的には大人が対象なんですけども、子ども囲碁教室で非常に参加人数が多い中からレベルの高い子どもが出て来るんですね。そういうこともこの場で披露する方が良いんじゃないでしょうか。一つの大きな成果でもあるので。それと、夏休みの読書推進事業は大人向けなんですけど、夏休みの取組については、子どもを対象にした、このようなテーマを設けた推進事業をやっても良いのではないかなというふうに思いました。子どもに関心を持ってもらうようなやり方で、読書のきっかけを多くの子どもの手に持ってもらえるようにしていただきたいなと思います。漫画の中にも教育的なものがたくさんあるので、そういう興味に関わるような漫画の特集を夏休みの中に作るなど工夫をしていただきたいなと思います。

倉本教育長

漫画で学ぶ歴史はたいいていの学校図書館には配置しております。ただそれが、子どもたちに興味、関心を引くものかどうかということも市長がおっしゃられたことを参考に、今後、市立図書館を含め考えていきたいなと思います。

大久保委員

市長が言われた教育的な漫画とか学校図書館にある漫画による歴史を読む子どもは、普通の本も読むことが多いように思うんですね。ただ漫画しか読まない子どもは、そのような漫画は読まない傾向にあるのではないかと思います。

岡本総務課長

他にございませんでしょうか。

それでは、最後の施策に移らせていただきます。13 ページの「重点施策 5 生涯スポーツの普及と促進」の進捗状況と今後の方向性でございます。資料は15 ページです。取組状況でございますが、11月11日の開催に向けて実行委員会を組織し、準備を進めております。昨年度から、踊りなど来場者が単に観るだけのプログラムにかわり、様々なスポーツを体験できるブースをトラック周りに設置しています。また、今年度から、熊野市身体障害者(児)福祉連合会が協力団体として参画されております。今後の取組の方向性ですけれども、今回は、新たな取組として、高齢者にやさしい体操をプログラムに取り入れたり、障がい者がスポーツに親しむブースを設置するなど、年齢や障害の有無に関係なく幅広い方に楽しみながら体を動かしていただく企画を実施します、としております。

次にスポーツ推進委員協議会活動の活性化総合型地域スポーツクラブの育成事業でございます。事業内容といたしまして、生涯スポーツ社会の実現のため、子どもから高齢者までが年齢や体力に応じてスポーツに親しめるよう、スポーツ推進委員協議会の活動を活性化するとともに、地域スポーツクラブの事業を充実させていきます。取組状況ですけれども、スポーツクラブの指導者による指導のもと、

健康ストレッチやユニカール、そふとエアロビクスなど 10 種目のスポーツについて親しんでいます。会員登録数は、354 名でございます。健康ストレッチ教室は、定員を上回る人気を示しております。今後の取組の方向性は、今後も、スポーツ推進委員の意見も聴きながら、利用者のニーズに応じたメニューの検討を行うなど、スポーツクラブの充実を図ります、としております。

次のスポーツ少年団育成事業でございますが、資料は同じく 15 ページとなっております。事業内容は、各スポーツ少年団の活動に対し助成を行い、スポーツを通じて青少年の健全育成を図ります。取組状況ですけれども、5 月 6 日に熊野市スポーツ少年団結団式・親睦大会を開催し、団員の親睦を深めております。現在の登録数は 12 団で、215 名。指導者が 35 名でございます。今後の取組の方向性ですけれども、11 月 18 日開催の熊野市・南牟婁郡交歓競技大会の開催に向け、準備を進めています。今後も活動の活性化を図り、子どもたちの体力向上と健全育成を図っていきます、としております。

次に 14 ページの高校総体の開催及び国体開催体制の構築事業でございます。資料は 16 ページとなっております。事業内容ですけれども、関係団体の協力のもと、開催に向けた準備を万全に行い、全国高等学校総合体育大会を成功させます。こちらの事業につきましてはすでに終了しております。国民体育大会開催に向け、市実行委員会を設立し、本市での開催を情報発信して開催機運を高めるなど、関係団体や市民の協力を得て諸準備を進めていきます。取組状況ですが、8 月 2 日から 12 日に全国高等学校総合体育大会ソフトボール競技を開催いたしました。女子 51 チーム、男子 42 チームが参加し、天候にもめぐまれ、成功裏に終了しました。チーム監督・選手総数が、1,710 人。観客総数が、延べ 26,800 人ございました。7 月 18 日に平成 33 年度国民体育大会の三重県開催及び本市でのソフトボール、これは成年女子です。また、ラグビーフットボール、これは 7 人制成年男子の開催が正式決定されました。9 月 19 日に熊野市実行委員会を設立し、今後、本格的に準備を進める体制を整えております。9 月 30 日から 10 月 2 日にかけては福井県にて開催された本年度の国体の視察を行いました。今後の取組の方向性ですけれども、国体開催に向けて、引き続き、競技施設の環境を整えるとともに、福井国体視察の内容を踏まえて競技団体と連携し、必要な準備を進めます。また、各種イベントで PR ブースを設けるなど、積極的に広報活動を行い、市全域で開催に向けた機運を高める取組を進めていきます、としております。以上が、重点施策 5 生涯スポーツの普及と促進の進捗状況と今後の方向性につきましてご説明申し上げます。

た。ご質問やご意見等ございましたらよろしくお願ひいたします。

倉本教育長

1 件補足説明をさせていただきます。13 ページの市民健康スポーツ祭の開催ということで、平成 30 年度の取組状況で平成 28 年度の参加者数が 2,500 人で平成 29 年度が 1,200 人と半分以下に減っておりますが、これは、それまでは餅まきやお菓子まきを行ったり、あとは踊りであったり太極拳であったり発表の場の部分もありました。なおかつ、他市町、場合によっては県外からの参加もありましたので、よりスポーツに特化したもの、より熊野市民に楽しんでいただくものという方向でシフトしましたので、この数字の減少は、進め方の違いによるものと捉えております。

河上市長

個々の取組についての話ではなくてですね、生涯スポーツの普及という点で、この把握が非常に難しいんですけども、週 1 回以上スポーツをする人の割合を増やすことが目標でしたよね。それからすると、数字そのものの把握は難しい点はあるんですが、個々の取組の評価は置いていて、全体の評価がしづらいので、先ほどの子ども一人に対して図書の利用数と同じなんですけど、やっぱり目標は、市民の中でのスポーツの普及を客観的に測れるような指標がないと評価しづらい点があるなと思います。指標で全部表せれるとは思えないものですから、いろいろとサンプル調査なのか組み合わせて評価することができるかどうか、検討していただく必要があるのではないかと思います。健康づくりの取組で、健康づくりに関心がありますかという風にアンケートを取ると、だいたいどちらの市町村でも 3 割ぐらいあります。実際に週に 1 回か 2 回、健康づくりの取組を実践していますかと問うと、又その内の 3 割なんです。これは、健康づくりで調査をやっているんですけども、他の分野でも同じような数字ではないかと思うんです。言いたいのは、例えばここに市民健康スポーツ祭に参加する人であったり、スポーツ推進委員会の中でいろんな取組をしている、その中に参加する人は重なる人が多くて、個々の数字が個別にもものすごく増えたとしても、全体として増えているかどうかというのは別問題なので、工夫をしていただきたいと思います。これは、簡単ではないと思いますが、アンケートを取るなどそういうことは必要ではないかと思います。でないと、個別の取組がいくら伸びても同じ人がずっと全ての取組に参加していれば、全体として普及しているかどうかということが分からないので。そこは簡単ではないにしても、これからどういう風にその数字を集めるかは、検討していただきたいと思います。

倉本教育長

確かにですね、総合型地域スポーツクラブの会員や参加していただく方は固定する傾向にあります。ですから、スポーツに親しむ方

は、週に1回とは言わず2回3回されていますし、そういう場に参加されていない方も非常に高い比率でございます。それが小さい頃からのスポーツの経験が関係し、きっかけとなることもありますでしょうし。そのあたりにつきましては、非常に難しい部分ではございますが、何らかの方法で探っていかなければならないと思っております。

河上市長

これは難しいんですね。7割の方は無関心層という言い方するんですけども、その無関心層を動かすのは非常に難しいんですが、施策としてはそこを動かさない限り、生涯スポーツの普及という点で評価はなかなか難しいのではないかと思います。難しいと思っただけであえて言っているのです。すぐに結果が出る話ではないですから、努力はしていただきたいと思えます。

岡本総務課長  
大久保委員

他にございませんでしょうか。

夏に高校総体がありました。今年の夏は格段に暑かったです。その中で選手の皆さんも大変だったと思いますが、運営に携わったたくさんの方々に本当にご苦労様でしたと、大会を観に行つてそういう感想を持ちました。

岡本総務課長

ありがとうございます。他にございませんでしょうか。全体を通してでも結構ですので、ご意見等ありましたらお願いいたします。

それでは(2)のその他でございますが、各委員の皆様から何かございませんでしょうか。

教育委員全員  
岡本総務課長

無し。

事務局からですが、次回の開催予定は、来年の2月を予定しております。内容につきましては、平成30年度の取組状況と効果、今後の課題、平成31年度の取組などを考えております。

委員の皆様、市長からいろんなご意見、ご提案、ご助言をいただきました。これまでの成果、反省や課題も踏まえてこれからの事業に反映させていただきたいと考えておりますので、どうかよろしくお願いいたします。

それでは、これをもちまして平成30年度第2回熊野市総合教育会議を閉会致します。本日はありがとうございました。